

野生化しているクジャクを 知っていますか？



外来種ってなに？
人が持ち込んだことで、もともとの生息地とは異なる場所へすみついてしまった生きもの

沖縄では、生きものたちが独自の進化を遂げ、島ごとにそこにしかいない生きものが生息するなど、世界的にも貴重な生態系がつくられています。このような特異な環境や生き物は、さまざまな変化に影響を受けやすく、**外来種の侵入**も大きな脅威となります。

インドクジャクってどんな生きもの？
【原産地】インド、スリランカなど
【生態】寿命：20~30年
【エサ】植物、昆虫、小型のトカゲなど
【繁殖】産卵は春、一夫多妻、卵は一度に6~8個を産む

外来種の1つであるインドクジャク(以下、クジャク)は、黒島や小浜島、石垣島、宮古島などおもに観光用に持ち込まれ、野外へ逃げ出し野生化しています。クジャクの被害は生態系だけでなく農業や畜産業へも広がっています。



生態系への影響

農業への影響

畜産業への影響

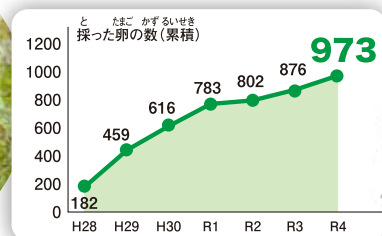
そこで、沖縄県ではクジャクへの対策として、以下の目標を立て具体的なとりくみを進めています。※1,2

- 特に貴重な自然が広がる西表島への侵入を防ぐ
- すでに野生化している地域のクジャクを減らす

翌年に産まれるヒナの数を抑えることができるよ

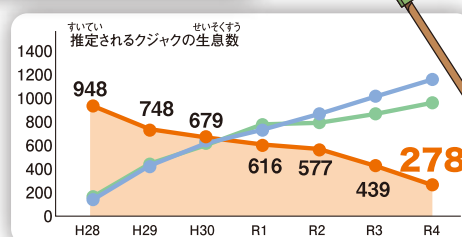
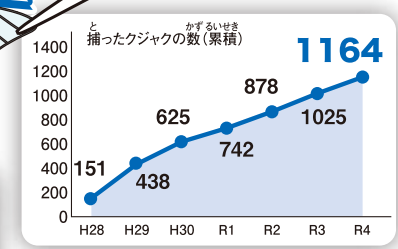


黒島でのとりくみ



つか捕まえる

すでに野生化したクジャクを減らしているよ



もとの自然にもどすには長い間対策を続けないとね...
黒島のみなさん!
引き続きご協力
よろしくお願いします!

6年間で推定生息数が1/3未満に!

- 生きものについて理解を深め、沖縄の島々の繊細でかけがえのない自然を守っていきましょう。※3
- みだりに野生の動物を捕まえて持ち帰ったり、植物を採ったりしないようにしましょう
 - 飼育していた動物を放ったり、植物をみだりに植えたりすることはやめましょう

※1 沖縄県外来種対策指針(2019)
※2 沖縄県外来種対策行動計画(2020)
※3 沖縄県希少野生動植物保護条例(2019)

